



東中だより

No. 02 令和8年 5月29日(金) 余市町立東中学校 発行

校訓…「進取」「利他」

学校教育目標

- 自律…自ら考え判断し行動する
- 尊重…多様性を受け入れ対話し解決する
- 創造…豊かな発想で新たな価値を生み出す

修学旅行での学び

校長 明 村 秀 之

今年は例年に比べ桜の季節が早く訪れ、美しい花景色を楽しませてくれましたが、あっという間に通り過ぎ、気がつけば学校の周りは新緑でいっぱいになりました。

さて、5月は旅行的行事を実施しました。2年生は札幌へ1泊2日、3年生は東京・横浜・鎌倉へ2泊3日で実施しました。

私は修学旅行の引率に加わったのですが、3年生の持っている力に感動し、頼もしく思ったことがありましたので紹介します。

修学旅行2日目は、東京・横浜の自主研修でした。朝8時からホテルを出発し、帰着は19時30分という長丁場。事前に計画した施設を見学・体験し、さらに昼食、夕食も自分たちで食べなければなりません。何か困ったことや緊急事態があれば、自主研修班に1台割り当てられたレンタルスマホで、私のところに連絡がくることになっていました。しかし、16時頃まではスマホが鳴ることはありませんでした。

上野動物園、国立科学博物館、東京スカイツリー、皇居、江戸東京博物館、靖国神社、東京タワーなど、各施設の見学については、ほぼ完璧に主な移動手段である鉄道を利用して訪問することができていました。東京を中心とした見学を終え、16時30分前後には横浜駅へ到着し、お土産や夕食をとることになっていました。横浜駅に到着したら、私に到着報告をすることとなっているので、そろそろ電話がくるなと思った16時頃に初めて連絡がありました。無事に横浜駅に着いた報告が続々と届き始めました。しかし、事件は起きたのです。

それは京急線が事故のため運行停止となったのです。タイミング悪く電車に乗っている時に運行停止となった班は、一つ前の駅で降ろされました。レンタルスマホで調べてみると、横浜駅まで1.6km。その班は、歩いた方が時間に合う可能性があるかと判断したのです。そして、そのことを私に詳しく的確に報告してくれ

ましたので、状況を職員全体で共有しました。

迂回や代替輸送で、バスまたは地下鉄でもホテルに戻るのに、それについての情報共有をした班がいくつかありました。これで大丈夫かと思いましたが、なんと地下鉄でもトラブルが起こったのです。誰かが緊急停止ボタンを押したため電車は停車したのです。この状況ではホテル集合時間に遅れる可能性があるかと判断した生徒たちは、電車内は通話できないので、メールで状況を私に伝えてくれました。メール文は端的でわかりやすく、はじめは職員からかな？と思ったくらいです。

京急の運行は18時30分には再開しましたが、圧倒される人の多さに、いつ自分たちが乗れるのかと不安になった班がありましたが、その状況についても報告があり、徐々に改善されて確実に乗ることができることを伝えました。結果的に、19時32分には全部の班がそろいました。19時30分に帰着でしたから、予定通りに行動できたと同じだと判断しています。

戻ってきた子どもたちからは「〇〇くんのおかげで戻ってこれたよ。ほんとありがと。」など、友だちの行動と判断を賞賛する声も聞かれ、うれしく、誇らしい気持ちになりました。

子どもたちにとって大都会での大冒険。見学施設での学びも大事ですが、今回のように巻き込まれたトラブルを解決していく過程で学んだこと、力を発揮できたことが大きな成果となった修学旅行でした。

どんな資質・能力等が発揮されたのか、あらためて整理してみると…

- ☆「時間(約束)を守る意識の高さ」
- ☆「事実や状況を正確に迅速に伝える力」
- ☆「得意不得意を補完し合う関係づくり」
- ☆「相手を認め、素直に感謝・賞賛できる」

この4つが特に際立った子どもたちの姿だったのではないかと考えています。

これらは日常的に培われるものであり、今後大事に育てていかなければならないと実感しています。

我々教職員も気づきと学びの多い有意義な修学旅行となりました。

